

## 令和4年度諸会議開催・出席報告

### I. 開催会議

定時総会	1回
幹事会	1回
監査会	1回
懇談会	3回
例会	10回
総務委員会	10回
総務委員会正副委員長会議	10回
委員会・特別委員会	<u>13回</u>
小計	49回

II. 視察会・研修会 4回

III. その他出席諸会議等（協賛・後援含む） 26回

合計 79回

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 鳥取県成長戦略検討委員会 委員長 野津 健市  
副委員長 藤井 満弘・森 紳二郎・吉岡 佐和子

## 2 活動方向と成果

当委員会では、鳥取県と協調して同県の成長に向けた戦略を検討することを活動方針としている。ポストコロナを見据え、疲弊した地域経済の回復だけでなく、鳥取県の成長についても模索した。

令和4年4月に鳥取県の平井知事に「新型コロナを乗り越える」と題して、講演頂いた。当時はまだまだ厳しい感染状況であり、収束が見えない中、どのように乗り越えるかという観点でご講演頂いた。

また、令和4年12月に約1年ぶりに鳥取県西部総合事務所との意見交換会が実現し、鳥取県と当会がそれぞれ認識する課題について意見交換を行った。

令和5年2月には三井住友海上火災保険(株)グローバル損害サポート部の児玉部長に依頼し、「境港の他港との比較とポテンシャルについて」と題して、境港の現在地と可能性についてご講演頂いた。海外経験の豊富な講師ならではの視点で、非常に興味深い講演になったものと思われる。

## 3 今後の課題

新型コロナウイルスのパンデミックから約3年が経過し、ようやく収束に向かいつつある。この間、東京をはじめとする大都市集中型の社会構造の脆弱性が指摘され、また、Web会議やリモートワークが当たり前のこととして定着し、働き方も大きく変化した。社会構造の抜本的な見直しには至っていない。

一方で、パンデミックにより、地方経済は益々疲弊し、同時に少子高齢化や担い手不足といった喫緊の課題が突きつけられ、地方経済はより困難な状況となっている。

今後、人口や経済規模が最小県である鳥取県が存在感を発揮し、成長を成し遂げていくためには、従来通りのやり方では厳しいと言わざるを得ず、新たな成長の方策、機会を模索していく必要があるものとする。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日 時：令和4年12月1日（木）11：30～13：00

場 所：レストラン サントネール

内 容：①鳥取県西部総合事務所との意見交換会、②今年度事業

参加者：会員4名

### （2）例会等

#### ■ 新年度例会（共催：総務委員会）

日 時：令和4年4月27日（水）17：20～18：05

場 所：ANAクラウンプラザホテル米子

内 容：講演会

演 題：「新型コロナを乗り越える」

講 師：鳥取県知事 平井 伸治 氏（オンライン出演）

参加者：会員他63名

#### ■ 鳥取県西部総合事務所との意見交換会

日 時：令和4年12月22日（木）11：00～12：00

場 所：ANAクラウンプラザホテル米子

内 容：意見交換

参加者：会員他9名、吉村 文宏 氏（鳥取県西部総合事務所長）他6名

■ オープン合同例会（共催：境港活性化特別委員会）

日 時：令和5年2月15日（水）17：00～20：30

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「境港の他港との比較とポテンシャルについて」

講 師：三井住友海上火災保険(株) グローバル損害サポート部 部長 児玉 肇 氏

②懇親会

参加者：【講演会】会員他 40 名

【懇親会】会員他 26 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 国際経済委員会 委員長 松浦 啓介  
副委員長 椎名 恵・竹ノ内 賢一郎・三輪 昌輝・吉岡 佐和子

## 2 活動方向と成果

アフターコロナを見据えた海外展開のための例会を8月に開催し、海外ビジネス展開における取り巻く状況や鳥取県による海外進出支援への取り組み状況を確認すると共に、越境 EC についての基礎的な知識、具体的な取り組み手法を学んで頂いた。これによって、会員企業の海外進出のための知識の向上、グローバル化の可能性を広げる一助となった。

## 3 今後の課題

- ・海外視察実施の検討
- ・鳥取県商工労働部通商物流課との連携（共催セミナーの開催：R5年度3回程度）

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日 時：令和4年7月11日（月）18：30～20：00  
場 所：メゾン ド キュー  
内 容：①今後の方針、②例会、③その他  
参加者：会員4名

### （2）例会等

#### ■ 例会

日 時：令和4年8月17日（水）15：00～17：00  
場 所：ANA クラウンプラザホテル米子  
内 容：①講演会  
演 題：「ポストコロナに向けた海外ビジネス展開と経済安全保障」  
講 師：鳥取県商工労働部通商物流課 課長 清水 明史 氏  
②講演会  
演 題：「ロシアのウクライナ侵攻に思う～ある元社マンのつぶやき～」  
講 師：鳥取県海外ビジネスアドバイザー 松原 斉 氏  
③講演会  
演 題：「中国・台湾・東南アジア、ベストな市場はどこ？  
国ごとに異なるアジア越境 EC の特徴と攻略法を伝授  
～国内向け自社 EC とは一味違う、海外向けの特徴、注意ポイントをご紹介～」  
講 師：スターフィールド(株) セールsteam 総谷 明帆 氏  
参加者：会員他 37 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

1 委員会名 教育委員会 委員長 森中 栄  
副委員長 上田 裕子・小林 弘和・森田 進

## 2 活動方向と成果

今年度は①高等学校との意見交換会（高校生との交流会）、②教員と経済界との交流事業、③公立鳥取環境大学との交流事業の検討の3事業を進めることを目標に活動を行ったが、コロナ禍の影響を受け、高等学校・公立鳥取環境大学との協議が実施できなかった。

3月に例会・経済界と西部地区高等学校等による交流事業を開催し、鳥取県教育委員会と高等学校等で取り組んでいる「県立高等学校における魅力化・特色化の取り組みについて」・「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みについて」の講演並びに説明を受けると共に、探求の時間を活用した、高等学校の事例等の紹介や学校の抱える問題点について意見交換を行うことができた。

## 3 今後の課題

今年度の例会において、例年実施している高等学校との意見交換会に対して高い評価を受けていることが確認でき、次年度以降も継続実施していくべきと感じると共に、高校側で探求の授業等で企業協力を苦勞していることが分かり、協力方法等についてシステム作りを検討すべきと感じた。

公立鳥取環境大学との交流事業の検討を含めた上記3事業の実施に向け、時間的な考慮を含め継続していくべきと感じる。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日時：令和4年5月19日（木）11:00～12:00

場所：公立鳥取環境大学西部サテライトキャンパス

内容：①令和3年度事業報告・収支決算報告、②令和4年度事業計画、③その他

参加者：会員4名

#### ■ 例会講師との打合せ

日時：令和5年2月6日（月）16:00～17:00

場所：鳥取県教育委員会事務局

内容：①今年度事業（例会）、②その他

参加者：会員1名、福本 哲也 氏（鳥取県教育委員会事務局高等学校課高校教育企画室長）、  
新田 秀登 氏（鳥取県教育委員会事務局高等学校課高校教育企画室指導主事兼係長）

#### ■ 第2回正副委員長会議

日時：令和5年3月13日（月）12:00～13:00

場所：魚ろばた 海座 米子店

内容：①今年度事業（例会）、②その他

参加者：会員5名

### （2）例会等

#### ■ 例会・経済界と西部地区高等学校等による交流事業

日時：令和5年3月20日（月）16:00～19:30

場所：ANAクラウンプラザホテル米子

内容：①講演会

演題：「県立高等学校における魅力化・特色化の取り組みについて」

講師：鳥取県教育委員会事務局 参事監兼高等学校課長 酒井 信彦 氏

②説明会

内容：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みについて」

講師：鳥取県教育委員会事務局高等学校課高校教育企画室

指導主事兼係長 新田 秀登 氏

③質疑応答・意見交換

④懇親会

参加者：会員他 29 名、鳥取県西部地区高等学校・特別支援学校教員等 15 名、  
鳥取県教育委員会事務局 2 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

1 委員会名 観光戦略委員会 委員長 秦野 博行  
副委員長 入江 道憲・河本 剛・越村 幸直・米田 政史

## 2 活動方向と成果

今年度の活動方向は、地方における経済振興のための効果的なインバウンド観光政策を提言することで、その経済効果を地域に取り込む機運を醸成することであった。当委員会では、鳥取県西部と島根県東部の中海・宍道湖・大山圏域の観光戦略について、これまでの関西学院大学国際学部渥美ゼミとの連携から得られた視点を基に、中海・宍道湖・大山圏域市長会に対して提言を行った。鳥取島根合同委員会の担当例会である第49回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会にて、米子・松江両市長にご臨席頂いた場で松村代表幹事から提言書をお渡ししたことで、広域行政における重要課題に対する当会としての提言を今後の優先課題とご認識頂き、政策実行と当地におけるインバウンド観光対応が進むものと考えている。

## 3 今後の課題

「観光戦略についての提言」実施によりこれまでの委員会活動のまとめとし、今後の課題としては、当会として引き続き渥美教授とゼミ生の皆さんとのつながりを活かし、新たなテーマに取り組んでいける体制作りにつなげていきたい。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会等

#### ■ 関西学院大学渥美教授との打合せ

日時：令和4年8月5日（金）17：00～20：30

場所：ANAクラウンプラザホテル米子

内容：①第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット発表資料

②鳥取県経済同友会西部地区観光戦略委員会の提言

③関西学院大学渥美ゼミによるフィールドワーク（SDGs）

参加者：会員6名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）

#### ■ 関西学院大学渥美教授との第2回打合せ

日時：令和4年11月25日（金）17：00～20：30

場所：ANAクラウンプラザホテル米子

内容：①鳥取県経済同友会西部地区観光戦略委員会の提言

②鳥取県経済同友会西部地区SDGs推進特別委員会と江府町での取り組み

参加者：会員他10名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）

### （2）例会等

#### ■ 山陰地方におけるインバウンド観光振興に関する提言（第49回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会）

日時：令和5年2月14日（火）17：05～17：20

場所：ANAクラウンプラザホテル米子

内容：松村代表幹事から中海・宍道湖・大山圏域市長会（伊木会長）への提言

参加者：会員他48名、東部地区13名、中部地区2名、島根経済同友会35名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

1 委員会名 鳥取島根合同委員会 委員長 高橋 宏之  
副委員長 明穂 宏昭・大丸 修二・畠山 広幸

## 2 活動方向と成果

令和3年度に引き続き、観光を中心に活動を行った。特に中海・宍道湖を軸に、①中海・宍道湖及び大橋川での水上交通と観光資源化の調査、②中海・宍道湖・大山圏域市長会の動向の調査を行い、米子市と松江市の両市長をお招きしての第49回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会を実施した。

上記活動を通じて、観光資源としての湖と河川の利活用の可能性を学び、また、両市長からは各自自治体のインバウンド及び大阪万博に向けての取り組み等最新の情報に触れることができた。

当年度も新型コロナウイルスの影響下ではあったが、感染拡大防止に努めつつ、事業を実施することができ、活動を通じてコンセンサスを取ることができたことも成果といえる。

## 3 今後の課題

新型コロナウイルスでリセットとなったインバウンドをはじめとする観光は徐々に回復の兆しを見せている。しかしながら、今後の更なる観光誘客に向けて一次交通・二次交通の整備、地域の観光資源の発掘等、課題は多岐にわたる。島根経済同友会と協働し、引き続き共通課題として継続的に取り組んでいく必要がある。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日 時：令和4年8月18日（木）12：00～13：00  
場 所：日本料理 雲海（ANAクラウンプラザホテル米子内）  
内 容：①今年度事業、②その他  
参加者：会員3名、島根経済同友会3名

#### ■ 委員会（山陰地区における新幹線整備にかかる関係者意見交換会）

日 時：令和4年8月18日（木）13：30～15：00  
場 所：【リアル】ANAクラウンプラザホテル米子  
【オンライン】Zoom  
内 容：①過去数年間の議論・検討の振り返り、②フリーディスカッション  
参加者：【リアル】会員他7名、島根経済同友会9名  
【オンライン】島根経済同友会2名

### （2）例会等

#### ■ 中海・宍道湖における水上観光視察会

日 時：令和4年11月22日（火）15：00～20：30  
場 所：【視 察】矢田の渡し  
【懇親会】手間ひま料理 根っこや  
内 容：①水上観光の視察  
②懇親会  
参加者：会員他6名、島根経済同友会4名

#### ■ 第49回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会

日 時：令和5年2月14日（火）17：00～21：00  
場 所：ANAクラウンプラザホテル米子  
内 容：①提言発表  
提 言：「山陰地方におけるインバウンド観光振興に関する提言」  
発 表：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史  
②講演会  
演 題：「城山で考える米子市の観光戦略」



講 師：米子市長 伊木 隆司 氏

③講演会

演 題：「松江市の観光戦略」

講 師：松江市長 上定 昭仁 氏

④対 談

テーマ：「山陰の真ん中で考える観光戦略」

対談者：伊木 隆司 氏、上定 昭仁氏

進 行：鳥取県経済同友会西部地区 鳥取島根合同委員会 委員長 高橋 宏之

⑤懇親会

参加者：会員他 48 名、東部地区 13 名、中部地区 2 名、島根経済同友会 35 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 大山圏域活性化特別委員会 委員長 福田 一哉  
副委員長 酒井 昭徳・多林 美智子・皆廣 繁夫

## 2 活動方向と成果

今年度は、昨年度新型コロナウイルス蔓延により例会が実施できなかったため、2つの例会を実施した。昨年度から継続して計画をしていた大阪市立大学の太田名誉教授のご講演は、テーマがいくつかの論点から成り難解な部分もあったが、その後のパネルディスカッションは、中山間地の課題と活路が良く分かる内容であった。

特に江府町の白石町長の政策についてのテーマは興味深く、そのお話の中でもあった tenrai(株)の桐村夫妻とのコラボレーションで実現しようとしている「山陰プラネタリーヘルス構想」についてのご講演を、オープン例会で行うことができたのは、大変良い流れになったと考える。

## 3 今後の課題

江府町の色々なテーマやコンセプトは非常に興味深く、自然塾等新たな試みも進んでいることから、今後も、大山圏域の中で生き残りを図るユニークな取り組みとして注目していきたい。

課題としては、行政の取り組みをいかに民間の力へと変えていき、その中で利益を生んでいけるかだと感じる。我々経済界の取り組みにヒントを与えることのできる委員会へと成長していければ良いと思う。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）例会等

#### ■ 例会

日 時：令和4年7月29日（金）15：00～18：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「混迷の時代、何を頼りに経営をしていけば良いですか」

講 師：大阪市立大学 特別任命名誉教授 太田 雅晴 氏

②パネルディスカッション

テーマ：「大山圏域の活性化 現在と未来」

コーディネーター：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史

パネリスト：江府町長 白石 祐治 氏

(株)オロチ 代表取締役社長 相見 晴久 氏

(株)山陰合同銀行地域振興部産業調査グループ 上席研究員 泉 洋一 氏

太田 雅晴 氏

参加者：会員他 27 名

#### ■ オープン合同例会（共催：SDGs 推進特別委員会、地域交流特別委員会）

日 時：令和5年3月6日（月）15：00～17：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「山陰プラネタリーヘルス構想」

講 師：tenrai(株) 代表取締役医師／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 里紗 氏

②講演会

演 題：「山陰のヒットの教科書」

講 師：tenrai(株) 取締役最高執行責任者／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 一平 氏

参加者：会員他 64 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 境港活性化特別委員会 委員長 浦川 英敏  
副委員長 上田 裕子・中西 健一郎・吉岡 俊介・渡辺 昇

## 2 活動方向と成果

鳥取県西部において境港は海の玄関口であり、産業面でも重要な地位にある。水木しげるロードを主とする観光面においても重要であるが、高度衛生管理型水産物地方卸売市場の完成により、今後の水産業・水産加工業の変革と魅力発信の可能性について活動を行った。

コロナ禍であり、水産業・水産加工業の理解を深めるための現場視察は適わなかったが、元読売テレビ報道局兼専門部長で、(一社)境港観光協会会長の結城豊弘氏を講師にお迎えし、境港の水産業・水産加工業のブランド化とその可能性についてご講演を頂いた。講演では県外の報道局で活動してこられた経験から、外から見た境港の問題点と可能性、そして他港との違いを客観的に話し頂き、今後の境港の水産業・水産加工業の可能性について理解を深めることができた。

## 3 今後の課題

境港は首都圏での知名度もありポテンシャルは高いが、それを情報発信する術が乏しい。改めて境港の弱みと強みを知り発想力の転換を行い、ブランド化するための情報の取得と発信を行っていく必要がある。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日 時：令和4年9月14日（水）11：30～13：00

場 所：カフェ・イン・ザ・パーク（ANAクラウンプラザホテル米子内）

内 容：①今年度事業、②その他

参加者：会員5名

### （2）例会等

#### ■ 例会

日 時：令和4年10月19日（水）14：00～15：30

場 所：【リアル】境港市民交流センター みなとテラス

【オンライン】Zoom

内 容：講演会

演 題：「境港の水産業・水産加工業のブランド化とその可能性」

講 師：テレビプロデューサー／(一社)境港観光協会 会長 結城 豊弘 氏

参加者：【リアル】会員他26名

【オンライン】会員7名

#### ■ 今日だけ 絶品茹でがに小屋

日 時：令和5年3月17日（金）17：30～19：30

場 所：お食事処 美なと亭

内 容：懇親会（今日だけ 絶品茹でがに小屋）

参加者：会員他14名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 SDGs 推進特別委員会 委員長 成瀬 以久  
副委員長 上田 理恵子・深田 拓慶・武良 英昭

## 2 活動方向と成果

活動方向としては、各企業で無理なく続けられる SDGs 活動の提案、そして海外の取り組みについて検討するというものであった。ゼロカーボンととっとりと講演会を共催できたことで、とっとりエコサポーターズ存在とその地道な地域活動の重要性について知ることができた。また、COP27 参加直後の全国地球温暖化防止活動推進センターの平田事務局長の話聞くことができ、日本と世界とのギャップ、会社経営の視点から見た脱炭素への取り組み方等を学ぶことができたように思う。SDGs とゼロカーボン、言葉は違えど目指すゴールは同じというところで、たくさんの気付きと視野の広がる講演会となった。

## 3 今後の課題

SDGs の活動は続けていくことが重要だが、それが自然に当たり前に行われるようにならなくては、2030 年までの目標達成は難しいと考える。そのために、世界を意識しつつ、日本の現状について自分事として感じてもらい、そこから会社経営に役立つ提案ができるよう検討していきたい。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）正副委員長会議・委員会

#### ■ 関西学院大学渥美教授との打合せ

日時：令和4年8月5日（金）17：00～20：30

場所：ANA クラウンプラザホテル米子

内容：①第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット発表資料

②鳥取県経済同友会西部地区観光戦略委員会の提言

③関西学院大学渥美ゼミによるフィールドワーク（SDGs）

参加者：会員6名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）

#### ■ 正副委員長会議

日時：令和4年9月13日（火）11：30～12：45

場所：日本料理 雲海（ANA クラウンプラザホテル米子内）

内容：①今年度事業、②その他

参加者：会員4名

#### ■ 関西学院大学渥美教授との第2回打合せ

日時：令和4年11月25日（金）17：00～20：30

場所：ANA クラウンプラザホテル米子

内容：①鳥取県経済同友会西部地区観光戦略委員会の提言

②鳥取県経済同友会西部地区 SDGs 推進特別委員会と江府町での取り組み

参加者：会員他10名、渥美 裕之 氏（関西学院大学国際学部教授）

### （2）例会等

#### ■ 例会

日時：令和4年11月22日（火）13：30～15：30

場所：【リアル】NPO エコパートナーととっとり事務局

【オンライン】Zoom

主催：鳥取県、ゼロカーボンととっとり

共催：鳥取県経済同友会

内容：①講演会

演題：「1.5℃達成への道のり～COP27 エジプト会議から  
～地域で取り組む“緩和”と“適応”」

講師：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA・全国ネット）

事務局長 平田 裕之 氏

②取り組み紹介

内 容：「とっとりエコライフ構想 “とっとりボーン！”」  
「とっとりエコサポーターズ（推進員）制度」

紹介者：鳥取県生活環境部脱炭素社会推進課 係長 山本 尚生 氏

③活動紹介

内 容：「エコサポーターズの活動紹介」

紹介者：とっとりエコサポーターズ（鳥取県地球温暖化防止活動推進員）  
山本 貴之 氏／(株)コクヨ MVP 山本 雄二 氏

内 容：「事業者の省エネの取り組み」

紹介者：(株)エスジーズ 総務グループマネージャー 豊島 康宏 氏

内 容：「事業者の再エネの取り組み」

紹介者：ローカルエナジー(株) 執行役員・電力事業部長 上保 裕典 氏

参加者：【リアル】会員他 16 名

【オンライン】会員 6 名

■ オープン合同例会（共催：大山圏域活性化特別委員会、地域交流特別委員会）

日 時：令和 5 年 3 月 6 日（月）15：00～17：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「山陰プラネタリーヘルス構想」

講 師：tenrai(株) 代表取締役医師／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 里紗 氏

②講演会

演 題：「山陰のヒットの教科書」

講 師：tenrai(株) 取締役最高執行責任者／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 一平 氏

参加者：会員他 64 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

- 1 委員会名 地域交流特別委員会 委員長 板垣 慶太  
副委員長 魚谷 宗司・廣江 智・森 由美子

## 2 活動方向と成果

当委員会は、この地域の活性化のため柔軟な発想での取り組みを活動方針としており、今年度の例会では、人と地球が共に健康になる「プラネタリーヘルス」をテーマに、江府町モデルとして地域構築を展開するベンチャー企業 tenrai (株)の桐村夫妻による講演会を実施した。

同社代表取締役医師の桐村里紗氏から、社会的共通資本の思想や SDGs をキーワードとしたプラネタリーヘルス構想についての説明を受け、理解を深めた。また、同社取締役最高執行責任者の桐村一平氏は、独自に開発されたマーケティングノウハウ「ヒットの教科書」や東京大学で研究されている道徳感情数理工学等から、プラネタリーヘルスを鳥取県における「質量のない特産品」として人的交流を地域活性につなげる発想について講演され、大変示唆に富む内容であった。

参加者にとっては、世の中の常識を再定義し、鳥取県が勝っていくためにどのような設計が必要か等考えさせられる機会となった。

## 3 今後の課題

江府町を社会実装の場とした山陰プラネタリーヘルス構想については、今後も注目していきたい。地域を活性化するため活躍している会員からの講演も意義深いものであった。また、この2年間コロナ禍で実現できなかったが、多くの会員が交流できるイベント企画の必要性を感じた。

## 4 活動の経過（正副委員長会議・委員会・例会等開催歴）

### （1）例会等

#### ■ オープン合同例会（共催：大山圏域活性化特別委員会、SDGs 推進特別委員会）

日 時：令和5年3月6日（月）15：00～17：00

場 所：ANA クラウンプラザホテル米子

内 容：①講演会

演 題：「山陰プラネタリーヘルス構想」

講 師：tenrai (株) 代表取締役医師／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 里紗 氏

②講演会

演 題：「山陰のヒットの教科書」

講 師：tenrai (株) 取締役最高執行責任者／

鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 一平 氏

参加者：会員他 64 名

# 鳥取県経済同友会西部地区委員会・特別委員会 令和4年度事業報告書

1 委員会名 ふるさと教育特別委員会 委員長 石村 隆男  
副委員長 伊藤 安二・遠藤 彰・秦野 啓一

## 2 活動方向と成果

「ふるさと教育」ということで、文字通りふるさとの地形等の成立ち、そこで営まれた先人たちの暮らしの歴史や文化を知ることの重要性を感じて頂くことができた1年となった。一昨年発行した、ふるさと読本『Roots 弓浜半島物語』が各方面で改めて評価を頂き、NHKのプラタモリや山陰スペシャル等のテレビ放送へとつながり、全国の多くの人に当地・弓浜半島の歴史等に関心を寄せて頂くことができた。11月にはコロナ禍で延期になっていた「弓浜半島 千年の歴史フォーラム～米子の地域形成の歴史的転換点を探る～」(共催:米子商工会議所観光・飲食業部会、参加:約150名)を開催し、多くの方に地域の成り立ちを確認頂くことができた。この歴史フォーラムも各方面から反響があり、狙い通りの事業となった。更に、弓浜半島のトレイン&サイクリングの試走も行き、課題等をまとめ、主管する鳥取県西部総合事務所へ進言を行った。

## 3 今後の課題

今年度は計画通りの事業が実施でき、想定通りに多くの方々に「ふるさと教育」、そして「地域学」の重要性・可能性を感じて頂くことができた。今後は学校での地域学講座等が開催できるよう働きかけをしたい。また、NHK等で放送されたこともあって、プラタモリ視点での地域の物語は、観光振興にもつながることが改めて確認できた。『Roots 弓浜半島物語』を観光振興の視点でも活用が進むよう取り組みをしたい。

## 4 活動の経過(正副委員長会議・委員会・例会等開催歴)

### (1) 正副委員長会議・委員会

#### ■ 正副委員長会議

日 時: 令和4年7月7日(木) 12:00~13:30  
場 所: 日本料理 雲海(ANAクラウンプラザホテル米子内)  
内 容: ①今年度事業、②ふるさと教育読本『Roots 弓浜半島物語』活用策、③その他  
参加者: 会員4名

#### ■ 第2回正副委員長会議

日 時: 令和4年9月22日(木) 17:30~18:30  
場 所: 日本料理 美さご  
内 容: ①今年度事業、②その他  
参加者: 会員4名

### (2) 例会等

#### ■ 弓浜半島トレイン&サイクリング

日 時: 令和4年10月20日(木) 13:00~16:30  
場 所: 弓ヶ浜サイクリングコース他  
内 容: ①レンタサイクル(JR米子駅)  
②サイクリング(JR米子空港駅)  
③弓ヶ浜サイクリングコース(美保湾展望駐車場~SANKO 夢みなとタワー~皆生温泉)  
④懇親会  
参加者: 会員4名

#### ■ オープン例会

日 時: 令和4年11月8日(火) 15:00~17:00  
場 所: 米子コンベンションセンター  
共 催: 米子商工会議所観光・飲食業部会  
協 力: 米子市  
内 容: ①ふるさと教育読本『Roots 弓浜半島物語』の概要説明  
鳥取県経済同友会西部地区 ふるさと教育特別委員会 委員長/

(公財)とっとりコンベンションビューロー 理事長 石村 隆男  
②歴史フォーラム「米子の地域形成の歴史的転換点」  
コーディネーター：米子市経済部文化観光局文化振興課 専門官 中原 斉 氏  
パネリスト：米子市経済部文化観光局文化振興課 課長補佐 濱野 浩美 氏  
米子市立山陰歴史館 主任学芸員 笹尾 庸嵩 氏  
石村 隆男

参加者：会員他 33 名、その他 112 名



# 鳥取県経済同友会西部地区 令和4年度事業報告

〔 自 令和4年 4月 1日  
至 令和5年 3月31日 〕

## I 諸会議

### ■ 定時総会

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 5. 31	ANA クラウンプラザホテル米子	①令和3年度事業報告並びに収支決算承認 ②令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)決定 ③役員選任 ④記念講演会 演題：「アクサのパーパス経営とアクサが見る 経済情勢とリスクの状況」 講師：アクサ生命保険(株)／ アクサ・ホールディングス・ジャパン(株) 代表取締役社長兼 CEO 安瀨 聖司 氏	総会 67名  講演 69名

### ■ 幹事会

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 5. 31	ANA クラウンプラザホテル米子	①令和4年度定時総会上程案件 ②その他	39名

### ■ 監査会

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 4. 21	米子商工会議所	①令和3年度事業報告並びに収支決算報告 ②令和3年度会計監査	4名

### ■ 懇談会

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 11. 4	第119回西日本経済同友会会員合同懇談会	KDDI 維新ホール、山コグランドホテル	テーマ：「ここからはじまる未来創生。 ～維新のふるさと山口で地方創生を考える～」 ①オープニング 「中原中也の詩の世界」朗読と創作ダンス ②基調講演 演題：「脱！やっつり地方創生」 講師：(株)日本総合研究所 主席研究員 藻谷 浩介 氏 ③パネルディスカッション パネリスト：山口市長 伊藤 和貴 氏 (同)さかえる 代表社員 栄 大吾 氏 長門湯本温泉まち(株) エリアマネージャー 木村 隼斗 氏 山口経済同友会 常任幹事／ (株)豆子郎 代表取締役社長 田原 文栄 氏 モデレーター：藻谷 浩介 氏 ④次回開催地挨拶 (一社)徳島経済同友会 代表幹事 三好 敏之 氏	リアル 6名 オンライン 2名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 12. 15	第 29 回岡山・鳥取県 経済同友会合同懇談会	鳥取県立博物館、 砂の美術館、 鳥取砂丘	①懇談会（鳥取県立博物館） 講演会 演題：「築城技術からみる鳥取城史」 講師：鳥取市教育委員会文化財課 課長補佐兼文化財専門員 佐々木 孝文 氏 ②散策（鳥取城跡、擬宝珠橋、天球丸石垣） ③視察（砂の美術館、鳥取砂丘） ④懇親会（海陽亭）	33 名 （うち 東部 12 名、 中部 2 名、 西部 3 名）
R5. 2. 14	第 49 回島根・鳥取県 経済同友会合同懇談会	ANA クラウン プラザホテル 米子	①提言発表 提言：「山陰地方におけるインバウンド観光振興に関する提言」 発表：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史 ②講演会 演題：「城山で考える米子市の観光戦略」 講師：米子市長 伊木 隆司 氏 ③講演会 演題：「松江市の観光戦略」 講師：松江市長 上定 昭仁 氏 ④対談 テーマ：「山陰の真ん中で考える観光戦略」 対談者：伊木 隆司 氏、上定 昭仁 氏 進 行：鳥取県経済同友会西部地区 鳥取島根合同委員会 委員長 高橋 宏之 ⑤懇親会	101 名 （うち 島根 35 名、 東部 13 名、 中部 2 名、 西部 48 名）

## ■ 例会

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 4. 27	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：総務委員会、鳥取県成長戦略検討委員会 ①講演会 演題：「新型コロナを乗り越える」 講師：鳥取県知事 平井 伸治 氏	63 名

本例会は、昨年 1 月 27 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年度に延期しての開催となった。

平井知事からは「新型コロナを乗り越える」と題して、観光、経済、DX、SDGs 等の鳥取県のトピックスを幅広く紹介頂いた。鳥取県ではポストコロナを見据え、県内経済の活性化や県民生活の向上を図ることを目的として、産業・雇用・社会プロジェクトチームを立ち上げており、新しいビジネス展開の促進や新たなニーズに対応した観光振興等の実現に向けた取り組みが進められているとのことだった。

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 7. 29	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：大山圏域活性化特別委員会  ①講演会 演題：「混迷の時代、何を頼りに経営をしていけば良いですか」 講師：大阪市立大学 特別任命名誉教授 太田 雅晴 氏  ②パネルディスカッション テーマ：「大山圏域の活性化 現在と未来」 コーディネーター：鳥取県経済同友会西部地区 代表幹事 松村 順史 パネリスト：江府町長 白石 祐治 氏 (株)オロチ 代表取締役社長 相見 晴久 氏 (株)山陰合同銀行地域振興部産業調査グループ 上席研究員 泉 洋一 氏 太田 雅晴 氏	27 名

本例会は、昨年 2 月 14 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年度に延期しての開催となった。

講演の中で、太田名誉教授は「新結合としてのイノベーション」、「本業で社会貢献を行うことと SDGs の推進」、「東京に依存しない地域力の発見」、「海外を含めた次世代を担う若い人達のニーズの把握」の 4 つを、混迷の時代に経営の拠り所とするものとして挙げられた。また、当地米子における「点を面にする観光開発」、「日南町をモデルにした SDGs 先進地域の推進」、「リゾート施設の誘致」の 3 つの方策について示唆を頂くことができた。

続くパネルディスカッションでは、松村代表幹事がコーディネーターとなり、江府町の白石町長、(株)オロチの相見社長、(株)山陰合同銀行の泉上席研究員、大阪市立大学の太田名誉教授をパネリストに迎え、「大山圏域の活性化 現在と未来」をテーマに各団体の取り組み等を発表頂いた。

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 8. 17	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：国際経済委員会  ①講演会 演題：「ポストコロナに向けた海外ビジネス展開と経済安全保障」 講師：鳥取県商工労働部通商物流課 課長 清水 明史 氏  ②講演会 演題：「ロシアのウクライナ侵攻に思う～ある元商社マンのつぶやき～」 講師：鳥取県海外ビジネスアドバイザー 松原 斉 氏  ③講演会 演題：「中国・台湾・東南アジア、ベストな市場はどこ？ 国ごとに異なるアジア越境 EC の特徴と攻略法を伝授 ～国内向け自社 EC とは一味違う、 海外向けの特徴、注意ポイントをご紹介～」 講師：スターフィールド(株) セールスチーム 総谷 明帆 氏	37 名

新型コロナウイルスの感染拡大により、海外視察を行えない状況が続いているため、海外展開を検討する企業や海外に興味を持つ企業に参考となる講演会を企画した。

清水課長には、令和 4 年 5 月に閣議決定した経済安全保障推進法の概要や鳥取県によるポストコロナの人流・物流活性化プロジェクトチーム等について紹介頂いた。

松原アドバイザーは、50 年近くロシアと関係してきた自身の経験を踏まえ、ウクライナ侵攻により政治経済・文化の関係改善が遠のくと分析された。

総谷氏は、民間企業の立場から越境 EC の特徴と攻略法として、「1 か国ずつを対象とした販売戦略」、「EC モールと自社サイトの併用」、「補助制度の活用」等を挙げられ、海外進出の有効な手段の 1 つであると話された。

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 10. 19	境港市民交流センター みなとテラス	担当：境港活性化委員会 ①講演会 演 題：「境港の水産業・水産加工業のブランド化とその可能性」 講 師：テレビプロデューサー／ (一社)境港観光協会 会長 結城 豊弘 氏	33 名
<p>本例会は、昨年 3 月 17 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年度に延期しての開催となった。</p> <p>この度は、境港の水産業・水産加工業にスポットを当て、今後のブランド化とその可能性について検討するための例会を開催した。</p> <p>結城会長は、境港の強みと弱みを知ることや発想力を転換することの重要性について話された。また、情報を得るツールとして東京や大阪からのよそ者・若者視線を、情報を発信するツールとしてホームページや SNS にそれぞれ活用することが必要ではないかをご指摘頂いた。更に、境港らしさ＝オンリーワンを追求することが大切であるとも話され、担当委員会をはじめとする会員一同、新しい気づきを得る機会となった。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 11. 8	米子コンベンションセンター	担当：ふるさと教育特別委員会 ①ふるさと教育読本『Roots 弓浜半島物語』の概要説明 講 師：鳥取県経済同友会西部地区 ふるさと教育特別委員会 委員長 ／(公財)とっとりコンベンションビューロー 理事長 石村 隆男 ②歴史フォーラム「米子の地域形成の歴史的転換点」 コーディネーター：米子市経済部文化観光局文化振興課 専門官 中原 斉 氏 パネリスト：米子市経済部文化観光局文化振興課 課長補佐 濱野 浩美 氏 米子市立山陰歴史館 主任学芸員 笹尾 庸嵩 氏 石村 隆男	145 名 (会員 他 33 名)
<p>本例会は、昨年 2 月 19 日に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、今年度に延期しての開催となった。米子商工会議所観光・飲食業部会と共催し、米子市の協力を得て、オープン例会形式で開催した。</p> <p>石村委員長から、令和 2 年 12 月に、鳥取県西部地域の小学校 6 年生に地域の魅力を再発見してもらうことを目的に当会が発行した、ふるさと教育読本『Roots 弓浜半島物語』の概要説明を行った。</p> <p>歴史フォーラムでは、「米子の地域形成の歴史的転換点」を 3 名のパネリストによるパネルディスカッションとした。濱野課長補佐からは、江戸時代の転換点として、米子城築城、城下町形成・米川用水開削を、石村委員長からは、明治時代の転換点として、明治維新～鉄道敷設等米子の近代化を、笹尾主任学芸員からは、大正・昭和時代の転換点として、皆生温泉開発・戦争前後の地域形成をそれぞれ解説頂いた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 11. 22	エコパートナーとっとり事務局	担当：SDGs 推進特別委員会  ①講演会 演題：「1.5℃達成への道のり～COP27 エジプト会議から～地域で取り組む“緩和”と“適応”」 講師：全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA・全国ネット）事務局長 平田 裕之 氏  ②取組紹介 内容：「とっとりエコライフ構想“トットリボーン！”」「とっとりエコサポーターズ（推進員）制度」 紹介：鳥取県生活環境部脱炭素社会推進課 係長 山本 尚生 氏  ③活動紹介 内容：「エコサポーターズの活動紹介」 紹介：とっとりエコサポーターズ（鳥取県地球温暖化防止活動推進員）山本 貴之 氏／(株)コクヨ MVP 山本 雄二 氏  内容：「事業者の省エネの取り組み」 紹介：(株)エスジーズ 総務グループマネージャー 豊島 康宏 氏  内容：「事業者の再エネの取り組み」 紹介：ローカルエナジー(株) 執行役員・電力事業部長 上保 裕典 氏	22名
<p>本例会は、鳥取県・ゼロカーボンとっとり主催、鳥取県経済同友会共催の形で、とっとりエコサポーターズ養成講座も兼ねて開催した。</p> <p>平田事務局長からは、地域を自慢し合うことで鳥取県の脱炭素活動を優位に進めるブランド化戦略等を紹介頂き、地球温暖化で将来の予測が困難な時代に際しても新しいビジネスチャンスがあることを示唆頂いた。</p> <p>山本係長からは、地球温暖化対策法に基づき身近にできる温暖化防止活動の実践や広報を行うことで、持続可能な社会をめざす、とっとりエコサポーターズ（推進員）制度についてご紹介頂いた。</p> <p>活動紹介では、豊島マネージャーが省エネ、上保部長が再エネについて、それぞれの取り組みを紹介頂いた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R5. 2. 1	ANA クラウンプラザホテル 米子	担当：総務委員会  ①講演会 演題：「新型コロナを乗り越え、新たな鳥取を創る」 講師：鳥取県知事 平井 伸治 氏  ②懇親会	60名
<p>この度も平井知事をお招きし、毎年度、恒例となっている新年例会を開催した。</p> <p>平井知事からは、当会が委員会・特別委員会を設けて取り組んでいる事業を踏まえた鳥取県の総合的な取り組みについてお話を頂いた。新型コロナウイルス感染症の5類移行を見据えた事業者支援、観光・飲食需要喚起策、海外展開支援等をご紹介頂き、当会の次年度以降の活動の方向性を確認することができた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R5. 2. 15	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：鳥取県成長戦略検討委員会、境港活性化特別委員会  ①講演会 演題：「境港の他港との比較と境港のポテンシャルについて」 講師：三井住友海上火災保険(株)グローバル損害サポート部 部長 児玉 肇 氏  ②懇親会	40名
<p>地元境港を日本国内の他港と比較することで、そのポテンシャルを考えるための講演会を企画した。2委員会合同のオープン例会の形式で開催し、境港管理組合や境港貿易振興会等からもご参加頂いた。</p> <p>児玉部長からは、境港の将来像として、港湾内に未利用地が多い利点を活かして輸入原料を港湾内で加工・消費する活用方法をご紹介頂くと共に、港湾とは思えない透明でしっとりとした空気や港湾の広さを活かしたバイオマス発電と燃料精製を組み合わせた利活用をご提案頂いた。</p> <p>新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せてきたことから、懇親会の開催も実現した。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R5. 3. 6	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：大山圏域活性化特別委員会、SDGs 推進特別委員会、 地域交流特別委員会  ①講演会 演題：「山陰プラネタリーヘルス構想」 講師：tenrai(株) 代表取締役医師/ 鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 里紗 氏  ②講演会 演題：「山陰のヒットの教科書」 講師：tenrai(株) 取締役最高執行責任者/ 鳥取県経済同友会西部地区 会員 桐村 一平 氏	64名
<p>人口最少県の人口最小の町・鳥取県江府町を拠点に、人を含むこの惑星全体を最適化するプラネタリーヘルス地域モデル（鳥取江府モデル）を構築された桐村夫妻を講師に招き、講演会を開催した。3委員会合同のオープン例会の形式で開催し、鳥取県や県西部地域市町村の行政職員を中心に参加頂いた。</p> <p>里紗氏からは、プラネタリーヘルスを鳥取県の質の低い特産品としてブランド化することで地方創生を図るという計画が示された。</p> <p>一平氏からは、世の中の常識を再定義することで、ヒット商品が生まれることとお話し頂き、プラネタリーヘルスという新しい概念による山陰の発展の可能性を示唆頂いた。</p>			

期 日	場 所	内 容	出席者
R5. 3. 20	ANA クラウン プラザホテル 米子	担当：教育委員会  ①講演会 演題：「県立高等学校における魅力化・特色化について」 講師：鳥取県教育委員会事務局 参事監兼高等学校課長 酒井 信彦 氏 ②説明会 内容：「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の仕組みについて」 講師：鳥取県教育委員会事務局高等学校課高校教育企画室 指導主事兼係長 新田 秀登 氏 ③質疑応答・意見交換 ④懇親会	42 名
<p>本県の人口減少、若者の県外流出による各産業界の担い手不足等の課題解決につなげるため、鳥取県西部を中心とする各高等学校や教育委員会事務局と連携した例会を企画した。</p> <p>酒井参事監からは、社会に開かれた教育課程の実現による、生徒・教職員・地域社会にとって魅力ある学校づくりの取り組みをお話し頂いた。</p> <p>新田指導主事からは、学校運営協議会を設置した学校であるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進についてご説明頂いた。</p> <p>質疑応答・意見交換では、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け開催が適わなかったが、これまで継続的に開催してきた当会と地元高等学校の生徒との交流事業について、将来を担う人材に向けて有益なアドバイスを行う機会として評価を頂き、今後も開催していくという方向性を確認した。</p>			

■ 総務委員会

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 4. 27	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入脱会・交替 ④その他（令和4年度定時総会資料他）	26名
R4. 5. 31	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の交替 ④その他（名物料理を作る会の解散と当会への寄附他）	26名
R4. 7. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の交替 ④その他（ジェイ・キャス(株)による新規航空路線の開設他）	25名
R4. 9. 6	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入会 ④その他（書籍『とっとりSDGs』他）	24名
R4. 10. 4	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他（日野川の源流と流域を守る会設立20周年記念シンポジウム他）	24名
R4. 11. 1	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入会・交替 ④その他（総務委員の交替他）	23名
R4. 12. 12	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の入脱会	27名
R5. 2. 1	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他	22名
R5. 3. 2	皆生グランドホテル天水	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③会員の脱会・交替 ④その他（代表幹事・常任幹事の選任他）	23名
R5. 3. 29	ANA クラウンプラザホテル米子	①諸会議出席・事業状況 ②今後の事業予定 ③その他（定時総会資料他）	21名



■ 総務委員会正副委員長会議（正副代表幹事・正副総務委員長）

期 日	場 所	内 容	出席者
R4. 4. 27	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R4. 5. 31	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R4. 7. 11	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R4. 9. 6	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R4. 10. 4	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	10名
R4. 11. 1	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	7名
R4. 12. 12	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	8名
R5. 2. 1	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R5. 3. 2	皆生グランドホテル天水	①総務委員会 上程案件 ②その他	9名
R5. 3. 29	ANA クラウンプラザホテル米子	①総務委員会 上程案件 ②その他	8名

■ 委員会・特別委員会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 5. 19	正副委員長会議 (教育委員会)	公立鳥取環境大学 西部サテライトキャンパス	①令和3年度事業報告・ 収支決算報告 ②令和4年度事業計画 ③その他	4名
R4. 7. 7	正副委員長会議 (ふるさと教育特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②ふるさと教育読本 『Roots 弓浜半島物語』 活用策 ③その他	4名
R4. 7. 11	正副委員長会議 (国際経済委員会)	メゾン ド キュー	①今後の方針 ②例会 ③その他	4名
R4. 8. 5	関西学院大学渥美教授 との打合せ (観光戦略委員会、SDGs 推進特別委員会)	ANA クラウンプラザ ホテル米子	①第13回日本海沿岸地 域経済同友会代表幹事 サミット発表資料 ②観光戦略委員会の提言 ③フィールドワーク (SDGs)	6名
R4. 8. 18	正副委員長会議 (鳥取島根合同委員会)	雲海	①今年度事業 ②その他	3名
R4. 8. 18	委員会 (鳥取島根合同委員会) ※山陰地区における新幹線整備 にかかるとの関係者意見交換会	ANA クラウンプラザ ホテル米子	①過去数年間の議論・検 討の振り返り ②フリーディスカッション	7名
R4. 9. 13	正副委員長会議 (SDGs 推進特別委員会)	雲海	①今年度事業 ②その他	4名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 9. 14	正副委員長会議 (境港活性化特別委員会)	カフェ・イン・ザ・パーク	①今年度事業 ②その他	5名
R4. 9. 22	第2回正副委員長会議 (ふるさと教育特別委員会)	美さご	①今年度事業 ②その他	4名
R4. 11. 25	関西学院大学渥美教授 との第2回打合せ (観光戦略委員会、SDGs 推進特別委員会)	ANA クラウンプラザ ホテル米子	①観光戦略委員会の提言 ②SDGs 推進特別委員会と 江府町の取り組み	10名
R4. 12. 1	正副委員長会議 (鳥取県成長戦略検討委員会)	レストラン サントネール	①鳥取県西部総合事務所 との意見交換会 ②今年度事業	4名
R5 .2. 6	例会講師との打合せ (教育委員会)	鳥取県教育委員会事務局	①今年度事業 ②その他	1名
R5. 3. 13	第2回正副委員長会議 (教育委員会)	海座	①今年度事業 ②その他	5名

### ■ 視察会・研修会等

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 8. 19	新入・交替会員研修会 (総務委員会)	皆生グランドホテル天水	新入・交替会員研修	30名
R4. 10. 20	弓浜半島 トレイン&サイクリング (ふるさと教育特別委員会)	弓ヶ浜サイクリングコース他	サイクリング	4名
R4. 11. 22	中海・宍道湖における 水上観光視察会 (鳥取島根合同委員会)	矢田の渡し	水上観光視察	6名
R4. 12. 22	鳥取県西部総合事務所 との意見交換会 (鳥取県成長戦略検討委員会)	ANA クラウンプラザ ホテル米子	意見交換会	9名

■ その他会議等（協賛・後援含む）

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 3. 29 ～ 4. 1	国際定期便利用促進協議会総会	書面	①令和4年度事業計画・収支予算 ②令和4年度役員改選	-
R4. 4. 14	第34回全国経済同友会 セミナー（特別プログラム）	オンライン	基調講演 演題：「ウクライナ危機が示した世界秩序の動揺」 講師：元防衛大臣 小野寺 五典 氏	12名
R4. 4. 15 ～5. 10	名物料理を作る会通常会員総会 （解散総会）	書面	①令和3年度事業報告・収支決算承認 ②名物料理を作る会の解散 ③名物料理を作る会の財産処分	-
R4. 5. 1 ～5. 31	（公社）経済同友会通常総会	オンライン	①令和3年度事業報告・収支決算報告 ②定款・規程の一部変更 ③令和4年度役員等選任 ④公益目的事業等の変更の決議 ⑤令和4年度事業計画（案）・収支予算（案） ⑥代表幹事所見	松村代表幹事
R4. 5. 10	第13回日本海沿岸地域 経済同友会代表幹事サミット 打合せ	雲海	第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット	4名
R4. 5. 25	米子空港利用促進懇話会総会	書面	①令和3年度事業報告・収支決算報告 ②会員の新規加入 ③令和4年度負担金 ④令和4年度事業計画案・収支予算案	-
R4. 5. 29	第17回出雲國神仏霊場 合同祭事・世界平和祈願祭	雲樹寺	①神仏行列・書道パフォーマンス ②その他	松村代表幹事
R4. 6. 16	米子中金会・米子中金ユース会 鳥取県中小企業団体中央会 通常総会講演会・懇親会	皆生グランド ホテル天水	①講演会 演題：「～ONE TEAM, ONE HEART～ラグビーに学ぶ 個人の成長とチーム・組織の活性化」 講師：パフォーマンスコンサルタント/ ラグビー元日本代表 今泉 清 氏 ②懇親会	17名
R4. 6. 17	鳥取県経済同友会 幹事会・定時総会	倉吉シティ ホテル	①令和3年度事業報告・収支決算報告 ②令和4年度事業計画（案）・収支予算（案） ③ゲスト講演 演題：「美術館に何ができるか」 講師：鳥取県教育委員会 美術館整備局 美術館振興監 尾崎 信一郎 氏 ④懇親会	35名
R4. 7. 13	第13回日本海沿岸地域 経済同友会代表幹事サミット 総務・懇談会部会	オンライン	①プログラム内容及びパンフレット作成 ②予算書の修正 ③今後のスケジュール	長谷川 副代表幹事
R4. 7. 14	第8回西日本経済同友会 代表者会議	ホテル日航 福岡	①代表者会議 テーマ：「我が国のこれからの企業経営を考える」 ②懇親会	欠席
R4. 8. 2	第13回日本海沿岸地域 経済同友会代表幹事サミット 実行委員会	オンライン	①プログラムの内容及びパンフレットの作成 ②予算書の修正 ③参加費の徴収 ④今後のスケジュール	6名
R4. 9. 1	三光グループ 創立50周年記念事業	境港市民交 流センター	①オープニング 遊吟ライブ ②50周年セレモニー ③舞の海秀平氏 講演会	14名
R4. 9. 30	（学）柳心学園 柳谷理事長への 感謝状贈呈式	米子商工会 議所	書籍『とっとり SDGs』寄贈に対する感謝状贈呈	3名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R4. 10. 13	中国 5 県経済同友会代表幹事との意見交換会	リーガロイヤルホテル 広島	①問題提起 「生活者共創社会について」 (公社)経済同友会 代表幹事 櫻田 謙悟 氏 「各地経済同友会による取り組み紹介」 鳥取県経済同友会 代表幹事 松村 順史他	松村代表幹事
R4. 10. 31	鳥取県経済同友会 正副代表幹事・事務局会議	オンライン	第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット	5名
R4. 11. 4	西日本経済同友会代表幹事会	山口グランドホテル	①第120回西日本経済同友会会員合同懇談会 ②2025年関西万博の進捗状況等	松村代表幹事
R4. 11. 24	第13回日本海沿岸地域 経済同友会代表幹事サミット	県民ふれあい会館、ホテルニューオータニ鳥取	①講演会 演題：「日本海国土軸計画の今とこれから～ビッグピクチャーの下、アクションを～」 講師：(一財)建設業技術者センター 理事長 谷口 博昭 氏 ②特別講演 演題：「これからの日本海沿岸地域の活性化」 講師：衆議院議員 石破 茂 氏 ③事例発表 内容：「山陰地方におけるインバウンド観光」 発表者：鳥取県経済同友会 観光戦略委員長 秦野 博行 ④スライドショー (株)LANDSCAPE DESIGN 代表取締役 柄木 孝志 氏 ⑤交流レセプション	13名
R4. 11. 25	第13回日本海沿岸地域 経済同友会代表幹事サミット エクスカージョン	砂の美術館 他	エクスカージョン (旧吉田医院、鳥取民藝美術館、砂の美術館、鳥取砂丘ビジターセンター、鳥取城跡他)	大野常任幹事
R4. 12. 3	日野川の源流と流域を守る会 設立20周年記念シンポジウム	米子コンベンションセンター	①講演会 演題：「日野川流域の風景が語りかけるもの ～Message from the Mother River～」 講師：(公財)とっとりコンベンションビューロー 理事長 石村 隆男 氏 ②パネルディスカッション パネリスト：オシドリグループ 代表 森田 順子 氏 鳥取環境大学 学生 EMS 委員会 CFBプロジェクトの皆さん 日野川の源流と流域を守る会 幹事長 達磨 晋 氏 コーディネーター：石村 隆男 氏	松村代表幹事 他
R4. 12. 5	全国経済同友会 代表幹事円卓会議	Gメッセ群馬 他	①産業視察(富岡製紙場) ②円卓会議 ③懇親パーティー	松村代表幹事
R5. 1. 13	米子中金会・米子中金ユース会・ 鳥取県中小企業団体中央会 西部支部新春講演会	皆生グランドホテル天 水	講演 演題：「花柳界で学んだ福をもたらす小さな心がけ」 講師：随筆家/元新橋 NO.1 芸者 千代里 氏	16名
R5. 1. 31	鳥取県経済同友会 正副代表幹事・事務局会議	オンライン	①第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット 収支決算報告 ②第9回西日本経済同友会代表者会議の開催地	5名

期 日	名 称	場 所	内 容	出席者
R5. 2. 24	鳥取県経済同友会 正副代表幹事・事務局会議	オンライン	①令和5年度定時総会等 ②令和5年度負担金	6名
R5. 3. 16	皆生温泉オリジナル日本酒 「皆生温泉・海に降る雪 上代」 新酒発表会	皆生グランドホテル天 水	新酒発表会	5名
R5. 3. 28	国際定期便利用促進協議会総会	オンライン	①国際定期便の現況 ②令和5年度事業計画・収支予算 ③令和4年度事業報告・収支決算見込	松村代表幹事

## II 提言

日 時：令和5年2月14日（火）第49回島根・鳥取県経済同友会合同懇談会  
 場 所：ANA クラウンプラザホテル米子  
 内 容：「山陰地方におけるインバウンド観光振興に関する提言書」  
 提言先：中海・宍道湖・大山圏域市長会